

**平成18年度  
「高齢者・障害者のための住宅相談研修会」  
開催要項**

**【目的】**

高齢者や障害者が自立し安定した生活を送るためには、住環境の整備はもとより、生活全般における問題の把握と的確かつ迅速なサービス提供が必要となります。

また、当事者や家族が望む援助が、必ずしも生活環境の改善・向上に合致するものとは限らない場合があるため、援助する側が正しい認識に基づき、最適な支援を行うことが望まれます。

そのようなことから、実際に住宅改修における図面の見方や、福祉用具の導入に関する知識の習得を具体的に確認するとともに、各職種が連携して支援していくことの必要性和各自の役割を認識し、今後の相互連携の充実を図る機会とします。

**【主催】**

財団法人北海道長寿社会振興財団 北海道高齢者総合相談センター

**【後援】**

北海道  
社会福祉法人北海道社会福祉協議会  
社団法人北海道シルバーサービス振興会  
社団法人日本福祉用具供給協会北海道支部  
社団法人北海道建築士会

**【期日】**

平成18年11月16日(木)～17日(金) 2日間

**【場所】**

TOTO イベントホール  
(札幌市中央区北1条東7-1-8)

**【参加対象】**

- (1) 地域包括支援センター(在宅介護支援センター)～ソーシャルワーカー、保健師等
- (2) 訪問看護ステーション～看護師等
- (3) 介護老人保健施設、医療機関～理学療法士、作業療法士、看護師、保健師、ソーシャルワーカー等
- (4) 建築設計事務所、施工業者、福祉用具業者等

など

**【参加定員】**

60名(先着順 定員になり次第締め切ります)

**【参加費】**

5,000円

参加費につきましては、事前に指定の銀行口座へ振り込んでいただきますが、口座番号等につきましては、参加可否の連絡と併せて、後日改めてお知らせいたします。

なお、納入後の参加費はご返却できませんので、ご了承ください。

[研修会日程及び内容]

第1日目(11月16日(木))

時 間	内 容 (講義内容・講師名等)
13:00~13:30	受 付
13:30~13:45 13:45~15:15	開会式・オリエンテーション 『講義 1』(90分)  「住宅改修のポイントとは」 ～介護保険や福祉用具をうまく活用しながら～  講師: 向川 洋次氏 (バリアフリー・デザイン協議会 事務局次長/ 一級建築士・福祉住環境コーディネーター)  高齢者・障害者の方がこれまでの生活を維持・継続し、かつ日常生活をできるだけ自立可能にするためには、個々のニーズに合った在宅福祉サービスの利用と住環境整備が必要となってきます。 介護保険では、手すりの取付け、段差の解消、移動の円滑化等のための床又は通路面の材料の変更等がありますが、改修工事での給付の対象は決まっています。 クライアントの生活状況は勿論、経済状況は様々ですが、費用が限られた場合でも、長期的な視点で必要な改修等を見抜き、それぞれのニーズや費用負担に応じ、介護保険制度における住宅改修や福祉用具の導入・レンタルを組合せた対応を行うことが必要となります。 このような実践を行うためには、保健医療福祉関係者のみならず、建築関係者も含めた共通の認識と連携が必要であり、生活全般を捉えるトータルな視点と、アセスメント能力をはじめとする高度な知識と技術が求められます。 今回は、将来を見据えた生活空間づくりを含めて住宅改修の知識はもとより、効果的な福祉用具の活用を考慮した考え方や進め方について講義をしていただきます。
15:15~15:30	休 憩 (15分)
15:30~17:00	「リハビリテーションの視点から見た身体状況」(60分) 説明・講師: 鈴木 英樹氏 (札幌市身体障害者福祉センター 理学療法士) 演習課題となる事例について、当事者のリハビリの方法や福祉用具選定のポイント、今後予想される身体状況について補足すると共に、そこから考えられる住宅改修のポイントを説明します。  「住宅改修のビデオ上映」(30分) 過去に行った住宅改修ビデオを見ていただき、今回行う演習の参考としていただきます。

第2日目(11月17日(金))

時 間	内 容
9:15 ~ 9:30	『オリエンテーション』(15分)
9:30 ~ 12:00	『グループ検討』(150分) (アドバイザー 向川 洋次 氏・鈴木 英樹 氏) グループに分かれて具体的なケースについて改造案を作成します。 そして、事例検討をとおして関係職種(保健・福祉・医療・建築)の役割と機能を相互に理解することで、連携の必要性を学ぶとともに、併せて住宅改造支援の過程(アセスメントの意義と方法、住宅改造の進め方)とノウハウを学びます。 今回は、水周り(トイレ)の改修が終わったグループから、実際に手すりの位置や入り口の幅を再現し確認します。
12:00 ~ 13:00	『昼食・休憩』(60分)
13:00 ~ 14:40	『グループ発表及び講評』(100分) (アドバイザー 向川 洋次 氏・鈴木 英樹 氏)
14:40 ~ 14:50	『休憩』(10分)
14:50 ~ 15:20	『まとめ、質疑応答』(30分)
15:20 ~ 15:30	『閉会式・アンケート記入』(10分)

**[留意事項]**

- (1) 昼食は、弁当を用意できますので、ご希望の方は申込の際にお願いします。
- (2) 宿泊については、斡旋いたしませんので、各自でご手配ください。
- (3) 駐車場は用意しております。

**[申し込み方法]**

別紙「参加申込書」により、下記締切日までに必要事項を記入いただき、FAX又は郵送でお申し込みください。なお、申し込み受付に当たっては先着順とし、定員になり次第締め切らせていただきますので、ご了承ください。(決定については、通知いたします。)

申込締切日 10月26日(木)

なお、定員を超えた場合には連絡させていただきます。

**[申込先]**

財団法人北海道長寿社会振興財団

北海道高齢者総合相談センター

〒060-0002

札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2.7 2階

TEL 011-281-0928

FAX 011-251-6156(担当:岩沢)

**【参加申込様式】**

平成18年度 高齢者・障害者のための住宅相談研修会

参加申込書

氏名には「ふりがな」をつけてください。

ふりがな 氏名	職名

所属機関、申込担当窓口をお知らせください  
参加可否の連絡に使用いたしますので、ご記入ください。

機 関 名 \_\_\_\_\_

住 所 〒 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_

F A X \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_

希望する方はご記入ください。

お 弁 当 希 望 ( )
車での参加 希 望 ( )